

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

山梨県南アルプス市

自治体名：山梨県南アルプス市
担当課名：教育委員会事務局 生涯学習課
電話番号：055-282-7778

本報告書は、スポーツ庁の「令和7年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業）」の一環として、山梨県が実施した「令和7年度地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業」の成果を取りまとめたものです。

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	261.14 km ²
人口	71,752 人 (R8.2月時点)
公立中学校数	7 校
公立中学校生徒数	1, 761人
部活動数	99 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	R5に南アルプス市部活動地域移行推進協議会を設置済 R7は協議会を2回実施
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	市としての方針・方法等を策定済

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

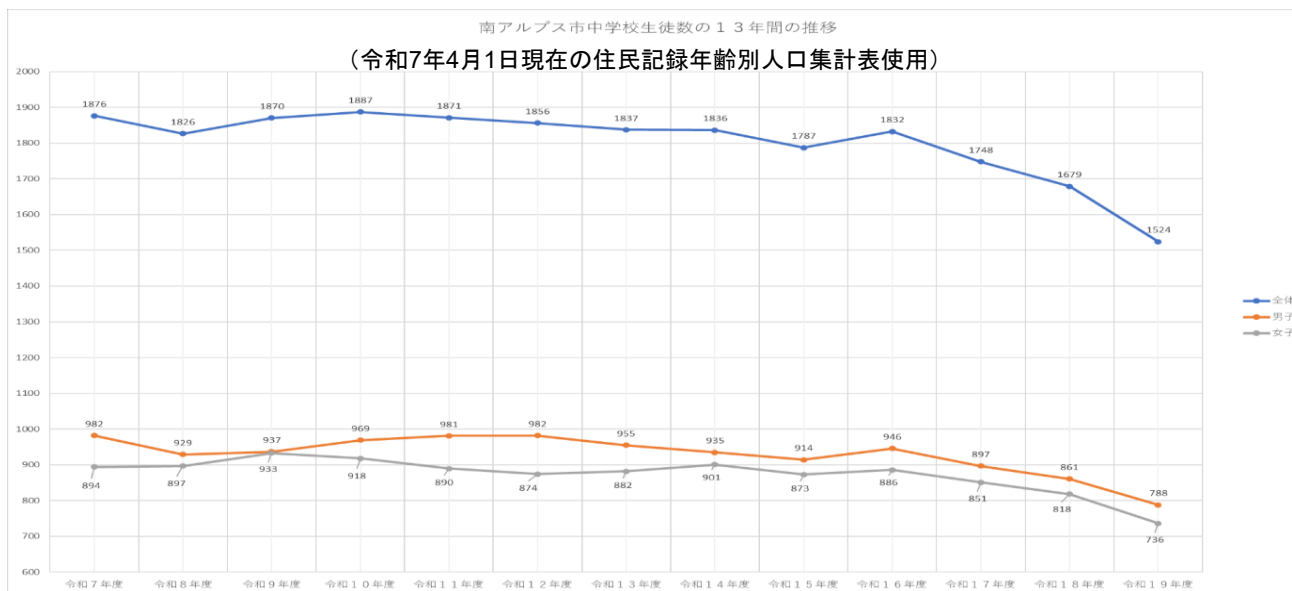
・南アルプス市には7校の公立中学校があり、令和7年4月時点で1, 761人の生徒が在籍している。本市が誕生した平成15年度は2, 491人であり、令和6年と比べると730人減少している。

・現在、市内公立中学校では季節部を含めて99の部活動があり、学校ごとに単独で活動できる部と活動できない部が混在している状況で、単独チームで大会参加できない場合は、合同チームを組んで活動している。

・令和7年度では地域移行に向けての取組を進めるため、国の定める要件や学校部活動の方

針に則る形での事業実施を検討し、①本協議会に参加し指導者を派遣可能な団体のある競技の部活動、②部員数が少ない競技の部活動、③単独で活動している部活動の6競技（男女ホッケー、女子バレーボール、女子ソフトボール、野球、サッカー、バドミントン）の部活動で先行的にモデル事業を行い、問題点や課題の集積に努めた。

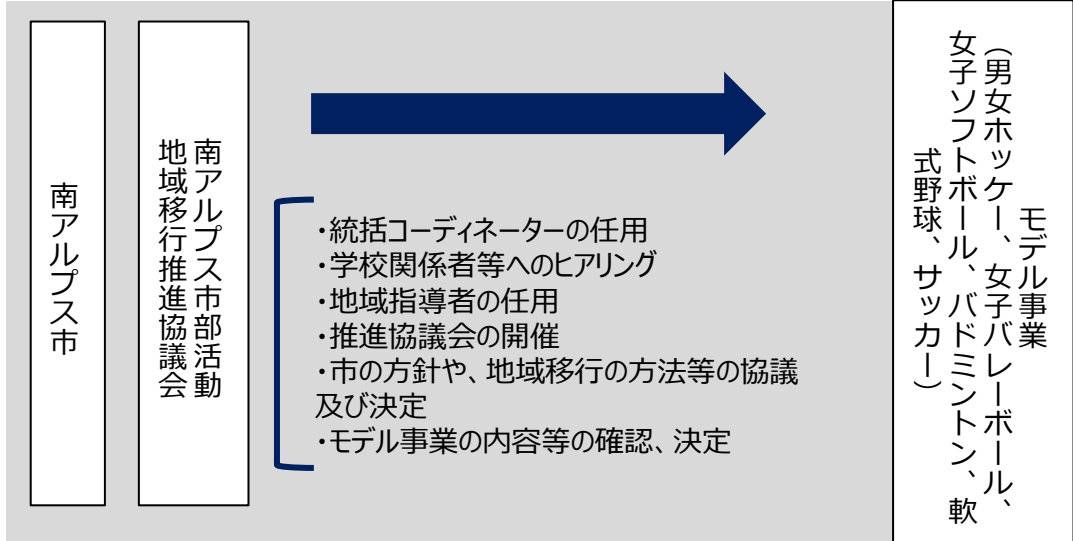
・地域クラブ化した際は、運営費用や指導力と質を兼ね備えた指導者をどのくらい確保出来るのかといったことが課題となることから、今後、解決に向けて検討していく必要がある。



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・南アルプス市部活動地域移行推進協議会の開催、南アルプス市部活動地域移行推進協議会委員の選定・任命、その他事務作業全般
- ・統括コーディネーターの任用、地域指導員の派遣や発掘に関する手段の構築、任用、その他事務作業全般
- ・モデル事業の内容等の確認、決定、実施
- ・モデル事業における課題の集積、分析、検証

◎首長部局

- ・首長部局が担当する役割はない。全て教育委員会内で対応している。

◎コーディネーター

- ・各学校との調整、地域展開の情報収集や進め方のアドバイス、他市町村の情報収集等

年間の事業スケジュール

令和7年4月 ～5月	<ul style="list-style-type: none"> ・全中学校校長との情報交換 ・保護者説明会(男女ホッケー)
令和7年6月	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業実施開始(男女ホッケー) ・第1回地域移行推進協議会 開催
令和7年7月 ～8月	<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校の職員向け説明会開催 ・モデル事業実施部活動の選定
令和7年9月 ～11月	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動顧問との協議・調整 ・第2回地域移行推進協議会 開催 ・保護者説明会(対象クラブ)
令和7年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者説明会(対象クラブ) ・モデル事業実施開始(女子バレーボール、女子ソフトボール、野球) ・指導者研修会 開催
令和8年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業実施開始(サッカー)
令和8年2月	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業実施開始(バドミントン) ・アンケート調査の実施 ・次年度に向けた顧問、保護者への説明(男女ホッケー)
令和8年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業で集積した課題、アンケート結果の分析 ・第3回地域移行推進協議会 開催 ・次年度保護者説明会(男女ホッケー) ・スポーツ団体への説明会

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		9 クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		9 クラブ（16 部活動）
	B：部活動にはない種目など、新規の地域クラブ活動数		0 クラブ
全体の指導者数	34 人（内兼職兼業 17 人）	全体の運営スタッフ数	3 人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
白根巨摩中男子ホッケークラブ	南アルプス市	ホッケー	月 2～4 回	休日 午前または午後	中学 1 年 中学 2 年 中学 3 年	令和7年6月～令和8年3月	5 人	3 人	会費なし（モデル事業のため）	中体連：部活動 その他：部活動
白根御勅使中男子ホッケークラブ	南アルプス市	ホッケー	月 2～4 回	休日 午前または午後	中学 1 年 中学 2 年 中学 3 年	令和7年6月～令和8年3月	4 人	3 人	会費なし（モデル事業のため）	中体連：部活動 その他：部活動
合同女子ホッケークラブ	南アルプス市	ホッケー	月 2～4 回	休日 午前または午後	中学 1 年 中学 2 年 中学 3 年	令和7年6月～令和8年3月	5 人	3 人	会費なし（モデル事業のため）	中体連：部活動 その他：部活動
南アルプス市野球クラブ	南アルプス市	野球	月 1～4 回	休日 午前または午後	中学 1 年 中学 2 年	令和7年12月～令和8年3月	4 人	3 人	会費なし（モデル事業のため）	中体連：部活動 その他：部活動

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の運営実績

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
南アルプス市女子ソフトボールクラブ	南アルプス市	ソフトボール	月 1～4 回	休日 午前または午後	中学 1 年 中学 2 年	令和7年12月 ～令和8年3月	4 人	3 人	会費なし (モデル事業のため)	中体連：部活動 その他：部活動
南アルプス市女子バレーボールクラブ	南アルプス市	バレーボール	月 1～4 回	休日 午前または午後	中学 1 年 中学 2 年	令和7年12月 ～令和8年3月	4 人	3 人	会費なし (モデル事業のため)	中体連：部活動 その他：部活動
南アルプス市サッカークラブ	南アルプス市	サッカー	月 1～4 回	休日 午前または午後	中学 1 年 中学 2 年	令和8年1月 ～令和8年3月	4 人	3 人	会費なし (モデル事業のため)	中体連：部活動 その他：部活動
南アルプス市バドミントンクラブ	南アルプス市	バドミントン	月 1～4 回	休日 午前または午後	中学 1 年 中学 2 年	令和8年2月 ～令和8年3月	4 人	3 人	会費なし (モデル事業のため)	中体連：部活動 その他：部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 体験会、イベント等の開催や実施は行わなかった。

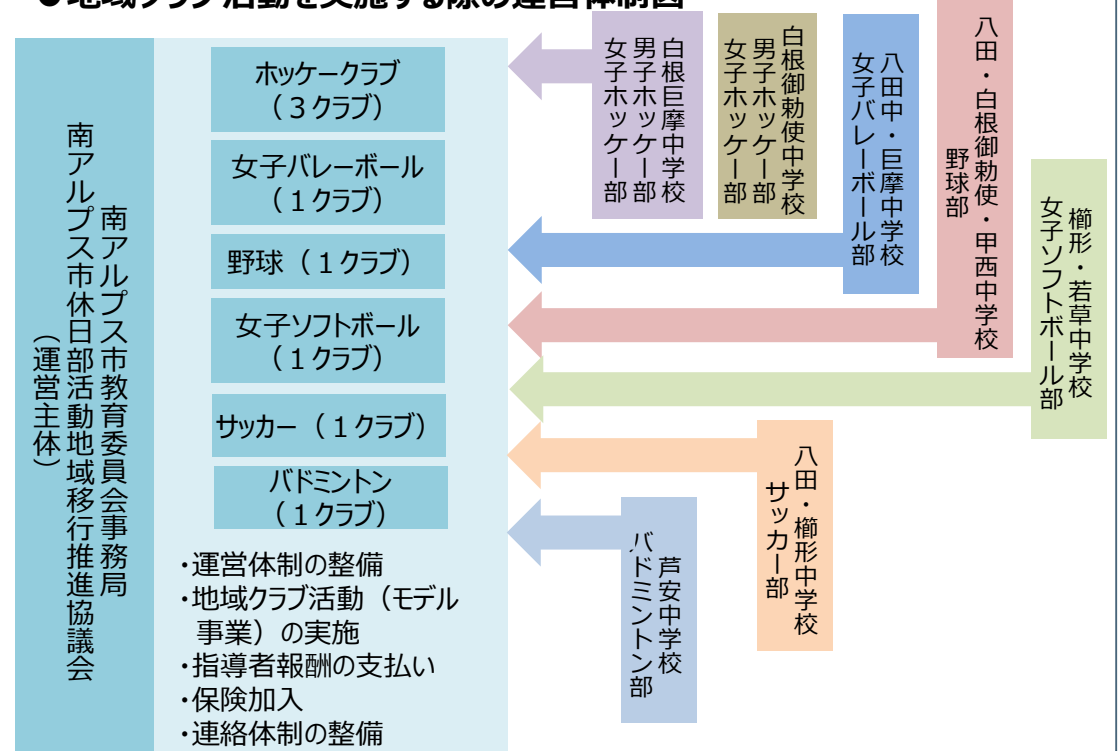
2.実証内容と成果

主な取組例

●南アルプス市休日部活動地域移行モデル事業 活動概要

地域クラブ活動モデル事業で実施した種目	男女ホッケー、女子バレーボール、軟式野球、女子ソフトボール、サッカー、バドミントン
運営団体名	南アルプス市教育委員会事務局 南アルプス市休日部活動地域移行推進協議会
期間と日数	(ホッケー) 月2～4回程度 令和7年6月7日～令和8年3月29日 (バレー・野球・ソフト) 月1～4回程度 令和7年12月6日～令和8年3月29日 (サッカー) 月1～4回程度 令和8年1月10日～令和8年3月29日 (バドミントン) 月1～4回程度 令和8年2月27日～令和8年3月29日
指導者の主な属性	教員(兼職兼業)、部活動指導員、外部指導者、大学生(山梨学院大)
活動場所	南アルプス市内
主な移動手段	徒歩、自転車、自動車
1人あたりの参加会費等(年額)	全競技：0円(モデル事業のため)
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 地域指導者：34名(内、兼職兼業17名)

役割：活動の主体として、生徒への指導、練習日程の調整、練習会場の選定等を行う。

- 運営スタッフ：3名

役割：運営体制の整備、地域クラブ活動(モデル事業)の実施、地域指導者報酬の支払い、保険加入、連絡体制の整備、協議会

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- 広域的な活動を行う統括コーディネーターを1名配置
- 南アルプス市部活動地域移行推進協議会を3回開催
- モデル事業の実施
- アンケート調査による問題点、課題の集積・分析

取組の成果

- 統括コーディネーターを配置したことにより、学校との連絡調整・情報交換等を円滑に行うことができた。
- 学校長や部活動顧問と情報交換を行うことにより中学校の実情を把握し、運営・実施主体である市と中学校間との連絡調整等を行うことができた。

今後の取組における課題

- 継続的な財源の確保
- 人材の確保（統括コーディネーター、地域指導者）
- 推進体制の整備

課題への対応方針

- ・今後、休日の部活動を地域クラブ活動に移行するには「財源の確保」、「人材の確保」、「交通手段」等が課題となる。地域クラブ活動の運営や実施が円滑に行われるよう、協議会で検討していく。

コーディネーターの具体的な動きの実績

【総括コーディネーター】

- ・毎月3～4回、事業の進捗等の把握や課題の整理等について事務局担当者と打ち合わせ
- ・学校や指導者との連絡調整を実施
- ・資料の作成

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

- ・スポーツ協会・文化協会への地域指導者確保に向けた協力依頼
- ・やまなしスポーツ指導者養成プロジェクトの活用
- ・県が用意した人材バンク「スポカルやまなし」を利用して地域指導者を任用
- ・任用した地域指導者を地域クラブ活動等に派遣

人材バンクの人数

7名

人材バンクの年齢構成

10代	1名
20代	5名
30代	0名
40代	0名
50代	1名
60代以上	0名

取組の成果

- ・部活動顧問（兼職兼業）、部活動指導員、外部指導者、大学生を地域指導者として任用し、34名確保
- ・受け入れ可能な団体のある競技の団体の職員や、県やまなしスポーツ指導者養成プロジェクトを受講した大学生も任用することができた

今後の取組における課題

- ・部活動顧問（兼職兼業）に地域指導者として、多くの教職員にご協力をいただいてモデル事業を行うことができたが、今後各種目の部活動を地域クラブ化するためには、部活動顧問（兼職兼業）以外の指導者を確保
- ・指導力と質を兼ね備えた指導者の確保するとともに、指導者の質を向上させる方法の確立

課題への対応方針

- ・市スポーツ協会、市内スポーツ団体と相談、連携を取り、また山梨県が設置した人材バンクも活用して地域指導者の確保を行う
- ・来年度から山梨県が行う指導者講習会に指導者が参加していただき、質の向上を図る
- ・市独自の研修会を開催

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

多様な人材の発掘・配置に向けた取組

- ・スポーツ協会への地域指導者確保へ向けた協力依頼
- ・やまなしスポーツ指導者養成プロジェクトの活用
- ・県が用意した人材バンク「スポカルやまなし」を利用して地域指導者を任用
- ・市内で活動するスポーツ団体に地域指導者の紹介依頼

指導者研修の内容

研修名	地域クラブ活動のより良い指導のために
講師	山梨県教育庁保健体育課学校体育担当 主査・指導主事 田鹿欣孝
研修内容	①「部活動改革」について、山梨県の動向 部活動の地域連携・地域移行について国の動向や山梨 県の動向とロードマップ、県内の市町村の取り組みについて 説明、県指導者研修システムの導入の説明 ②「より良い指導者として」、グッドコーチワーキング JSPOの資料と動画を用いてグッドコーチとして適切に対応 するための説明を

指導者研修受講者の声

●参加者の声

参加者①

部活動地域展開の内容について、知らなかったため概要について知ることができた。今後部活動が大きく変化していくと感じた。

参加者②

部活動顧問として、生徒に指導しているが、グッドコーチワーキングの説明を受けて、普段正しい対応が出来ているか見直すことができた。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

- 令和6年度から継続して男女ホッケー部にてモデル事業を実施
- 令和7年度から新たに女子バレーボール、野球、女子ソフトボール、サッカー、バドミントンにてモデル事業を実施
- 地域指導者の確保を山梨県人材バンクを利用して実施

取組の成果

- 令和6年度から継続して行ったホッケー部については、保護者も本事業について知っていることから、順調にモデル事業を始めることができた
- 令和7年度から新たに行った競技については、保護者説明会で大会の出場についてや活動形態、来年度の動きについて多く質問がでたことから保護者の心配内容が把握できた
- 山梨県人材バンクを用いて地域指導者を1名確保できた

今後の取組における課題

- 保護者説明会で大会の出場についてや活動形態、来年度以降の動きの明確化
- 山梨県人材バンクを用いて地域指導者を1名確保できたが、連絡への返信なしや面談後、辞退された方が多く、地域指導者の確保

課題への対応方針

- 大会の出場についてや活動形態、来年度以降の動きについて、状況整理、関係者との調整を継続して行う
- 市スポーツ協会や市内競技団体に地域指導者の確保の協力をお願いする

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実

取組事項

○少子化により部員数が少なく合同で活動している部活動（男女ホッケー、女子バレーボール、野球、女子ソフトボール、サッカー）でモデル事業を実施し、部員の少ない部活動への練習の質の確保を行った

取組の成果

- サッカー以外のモデル事業に参加した生徒のアンケート結果で、「参加してどうでしたか」について、よかったが約85%だった
- 回答理由として、とても良い練習ができた、たくさんの人と交流ができたとの声が上がった

今後の取組における課題

- 地域クラブとした学校部活動以外の市内中学校の生徒から、参加希望があった場合の対応
- （例：A中学校の〇〇部活動を地域クラブ活動とした場合、B中学校の生徒が自校にない部活のため参加したいと希望した場合）
- 学校部活動にない種目について、地域クラブで新設希望があった場合の対応

課題への対応方針

- 希望者が自校で所属している部活動の人数に影響が発生し、試合への出場可否に関わる可能性があるため、慎重に検討していく
- まずは部活動としてある種目について地域クラブ活動への展開をしていく

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和7年度は6競技でモデル事業を実施することを協議会で決定し、実際に7競技（男女ホッケー、女子バレーボール、野球、女子ソフトボール、サッカー、バドミントン）でモデル事業を実施した。

令和8年度からは各中学校1部活動以上を地域クラブ活動を開始できるよう目指す。

地域移行にあたっては、「財源の確保」、「地域指導者の確保（人材の確保）」、「交通手段」、「地域分け」、「大会出場するための資格」、「推薦体制の整備」、「過失に備えた対応」といった様々な課題がある。今後、解決に向けて検討・協議を進めていく。

地域移行については、いきなり全ての部活動を地域クラブ化ということではなく、基本、今の部活動を維持しつつ、できる学校、部から、順次、進めていくことを目指している。そのため、部活動指導員や外部指導者を活用する現行の「学校部活動の地域連携」の充実を図り、しばらくは学校部活動と地域クラブ活動とを並走しつつ、生徒がスポーツ・文化芸術活動に親しむことのできる環境を整えていく。

●成果の評価

今年度は「指導者を派遣可能な団体のある競技でのモデル事業」、「部員数が少ない競技でのモデル事業」、「単独で活動している競技でのモデル事業」という3つの目的の下で競技種目を選定し、6競技（男女ホッケー、女子バレーボール、野球、女子ソフトボール、サッカー、バドミントン）で実施できた。実施後にアンケート調査も行い、問題点・課題の集積もできた。

部活動地域展開について、市内中学校の教職員への説明会やモデル事業を行う際に保護者説明会、地域指導者の任用前に説明を行ったが、知らない人が多く、今後も周知について継続が必要であることが分かった。

●今後に向けて

令和8年度からはモデル事業ではなく、地域クラブに展開していく。具体的には、令和6年度からモデル事業を実施している男女ホッケー部を5月から地域クラブとする予定。他部活動で地域クラブ化は各学校の意向調査や事前調整を行い、令和8年度6月に第1回協議会を開催、3年生引退後に地域展開する部活動の検討及び準備を行う。3年生引退後の新体制となった段階で地域クラブに展開を予定している。

令和9年度以降も同様な流れで順次地域展開を検討している。

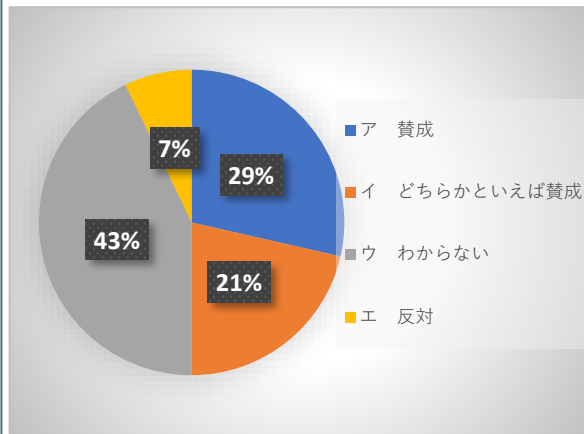
参加料については、国の動向を注視しながら、慎重に検討していく。

課題である指導力と質を兼ね備えた指導者の確保や、質の向上については山梨県や市スポーツ協会、市内スポーツ団体と連携して取り組んでいく。

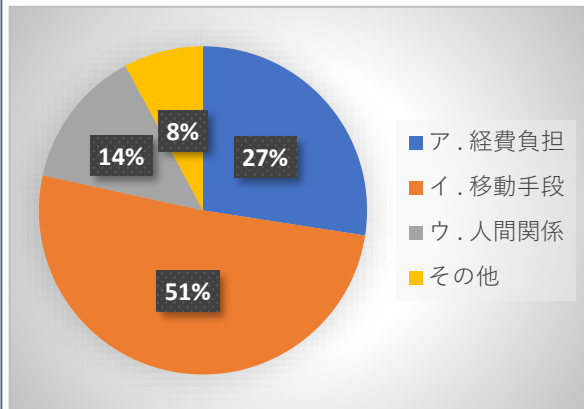
アンケート結果・参加者/関係者の声

●アンケート結果

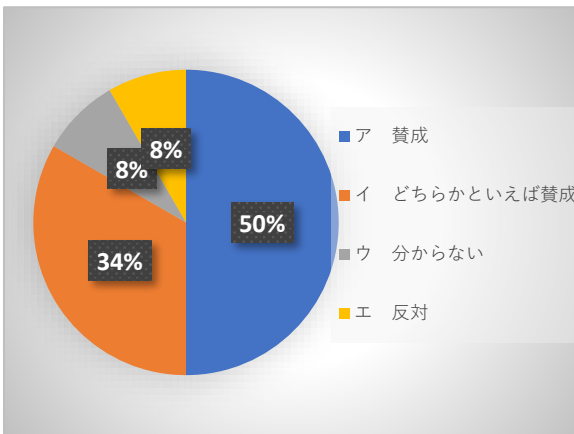
Q.この取組について、どのようにとらえていますか
(保護者)



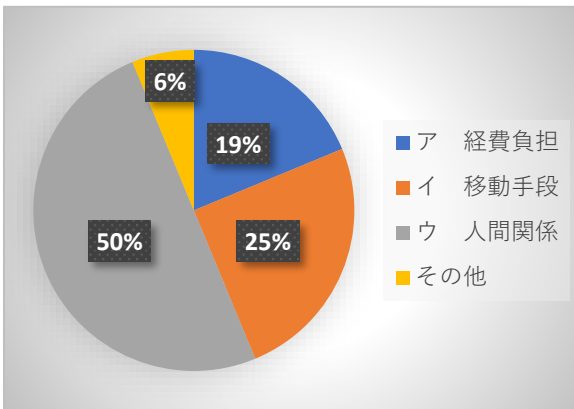
Q.この取組に関して、心配や不安に思うことはなんですか (保護者)



Q.この取組について、どのようにとらえていますか
(地域指導者)



Q.この取組に関して、参加する生徒への心配や不安に思うことはなんですか (地域指導者)



●参加者/関係者の声

保護者

取組については賛成50%、分からない43%、反対7%となった。賛成意見として、先生方の負担軽減が図られる、他校の生徒と係わり仲間（友人）が増える、人数の少ない部活はやりたいこと続けられるので良いという意見が上がった。反対意見として、休日にやりたい人が参加すればいいという声が上がった。その他、人数が多い部活ではどこまで対応してもらえるのかわからないので不安との声も上がった。

指導者

取組については、賛成84%、分からない8%、反対8%となった。賛成意見として、教員の働き方改革と指導力向上の両面から効果が期待できる。分からない意見として、兼職兼業で指導を行っているので教員の負担軽減にはならないという声が上がった。反対意見は、生徒たちの活動環境を変えたという意見が上がった。

中学生

取組については参加してみて良かったという意見が大半であった。良かった理由として、友達が増えた、とてもよい練習ができた、練習で自分のためな所に気づけた等の意見が上がった。不安に感じている所は、移動が大変だったという意見が多く上がった。また、地域指導者がきてくれるのであれば継続して参加したいという意見も上がった。

2.実証内容と成果④

参考資料



【第1回部活動地域展開推進協議会】



【モデル事業活動風景①】



【地域指導者研修会】



【モデル事業活動風景②】

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年

庁内検討会等の
開催
協議会設置条
例の制定

協議会の設置、
協議会の開催

令和6年

教職員、学校
等への調査
統括コーデ
ィネーターの任用

指導者の選定
生徒、保護者へ
の説明
モデル事業実施

令和7年

協議会の開催
モデル事業実施

令和8年

地域クラブ活動
の開始

ステークホルダー

市教育委員会、市推進協議会、総括コーディネーター

経過

○令和5年度は検討委員会等を開催、検討、協議会を設置。

協議会を2回開催して市の方向性・方針を決定。

○令和6年度は教職員等へのアンケート調査や統括コーディネーター

の任用、協議会を開催。調査結果及び学校長と情報交換により、

3競技(男女ホッケー、男子バレーボール、野球)でモデル事業実施。

○令和7年度は協議会を3回開催。各学校と調整し、6競技(男女

ホッケー、女子バレーボール、野球、女子ソフトボール、サッカー、バドミ

ントン)でモデル事業実施。

実施内容

○国の定める要件や学校部活動の方針に則る形でのモデル事業実

施を検討し、問題点や課題の集積をするため、①本協議会に参加し指導者を派遣可能な団体のある競技の部活動、②部員数が

少ない競技の部活動、③単独で活動している部活動から6競技

(男女ホッケー、女子バレーボール、野球、女子ソフトボール、サッカー、

バドミントン)でモデル事業実施。

実施にあたって生じた課題

○地域クラブ化した際の運営費用や指導者の確保

運営費用をどのように確保するのか、指導力と質を兼ね備えた指導者をどのくらい確保出来るのかが課題。

今後の展開

○令和8年度からはモデル事業ではなく、地域クラブに展開していく。具

体的には、令和6年度からモデル事業を実施している男女ホッケー部

を5月から地域クラブとする予定。他部活動で地域クラブ化するのは

各学校の意向調査や事前調整を行い、令和8年度6月に第1回

協議会を開催、3年生引退後に地域展開する部活動の検討及び

準備を行う。3年生引退後の新体制となった段階で地域クラブに展開

を予定している。

○令和9年度以降も同様な流れで順次地域展開を検討している。

○参加料については、国の動向を注視しながら、慎重に検討していく。

○課題である指導力と質を兼ね備えた指導者の確保や、質の向上に

ついては山梨県や市のスポーツ協会、市内スポーツ団体と連携して取

り組んでいく。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
国 スケジュール	<p>前期改革実施期間</p> <p>後期改革実施期間</p> <p>中間評価</p> <p>・ 休日は原則として、全ての部活動において地域展開を目指す。 ・ 平日は、各種課題を解決しつつ推進する。</p>						
	市 スケジュール	<p>各中学校1部活動以上を地域展開</p> <p>6部活動以上</p>	<p>新たに各中学校2部活動以上を地域展開</p> <p>12部活動以上</p> <p>計18部活動以上</p>	<p>新たに各中学校2～5部活動以上を地域展開</p> <p>24部活動以上</p> <p>計42部活動以上</p>	<p>新たに各中学校2～5部活動以上を地域展開</p> <p>24部活動以上</p> <p>計66部活動以上</p>	<p>残りの全ての部活動を地域展開</p>	<p>4月から全ての部活動は地域クラブ活動で活動</p>
	平日				<p>国の中間評価を受けて、モデル事業を検討する。</p> <p>平日部活動の地域展開への準備</p>		
	方針計画	<p>市の方針・推進計画により地域展開を実施</p>			<p>国の中間評価により、現計画の検証・見直しの検討</p>	<p>見直した方針・推進計画により地域展開</p>	

※芦安中学校につきましては、個別に対応いたします。